|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 課長 | 課長補佐 | 係長 | 担当職員 |
|  |  |  |  |

様式－１

**構 造 計 画 事 前 確 認 書**

提　出　日 　　令和　　　年　　　月　　　日

管理技術者

　　　 　 構造設計者

１．建　物　概　要

　(1) 工事名

(2) 所在地 旭川市

(3) 設計年度

(4) 施設名

(5) 用 途

(6) 耐震安全性の分類

　　　　　構造体　 　　　・ Ⅰ類（Ｉ=1.50） ・ Ⅱ類（Ｉ=1.25）　・ Ⅲ類（Ｉ=1.0）

建築非構造部材 ・ Ａ類　 ・ Ｂ類

建築設備　 ・ 甲類 ・ 乙類

（重要度係数設定理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

(7) 工事種別 　 ・新築　　　・増築　　　・その他

(8) 建物規模

延面積 　㎡

建築面積 　㎡

階数 地上 　 階 地下　 階　 塔屋　 階

建物高さ 　ｍ

軒の高さ 　ｍ

(9) 構造概要

構造種別 　・ＲＣ造　 ・Ｓ造　 ・ＳＲＣ造　 ・その他

構造形式 Ｘ方向

Ｙ方向

基礎種別 　・直接基礎

　・杭 基 礎

(10) 将来設計 　 増築　 ・有　　　・無　　　・不明

(11) その他の条件

２．使用材料

(1) 普通コンクリート ・FC21 　 ・FC24 　・

(2) 鉄筋 　 ・SD295A(D16以下)　・SD345(D19以上)　・

(3) 鉄骨（主要部） 　 ・SS400 ・SN400 ・

(4) その他（　　　） 　・

３．地盤と基礎

(1) 地盤調査 報告書 ・有　　・無

　 調査内容 ・土質 箇所

・標準貫入試験 箇所

　　　　　　　　　　　・水平方向載荷試験 箇所

・地下水位の深さＧＬ－　 　ｍ （測定月　 　月）

※ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ柱状図・位置図・考察(まとめ)を添付する

(2) 基礎形式（選定に際し複数検討する場合は，任意の様式を追加し全て記入すること）

設計方針

　 　 直接基礎　基礎形式

　　　 支持地盤の種別 支持地盤　ＧＬ－　 　　ｍ

支持層選定理由

地盤の長期許容応力度　　　　 KN／㎡ ※計算過程を添付する

　　　　　　　　　　　地盤の許容応力度算定式

・H13告示第1113号第2(1)式

内部摩擦角φ　 　度 粘着力Ｃ KN/㎡ 根入深さDf ｍ

根入れ部分の土の単位体積重量γ2 KN/m3

φ及びＣをＮ値より算出した場合は下記に記入

計算に用いたＮ値

Ｎ値の算出方法

φ及びＣの算定式

　　　　　　 　　　　　・その他

　　　　　　　　　　　 沈下量の検討　・する　　　　　　　　　　　　・しない

その他検討する事項

　 杭基礎 杭種別 　　 工法

工法の大臣認定番号等 ※認定書等を添付する

　　　　　　　　　　　 主杭径 　 ㎜ 長さ　 　　ｍ (基礎底GL-　 　　ｍ)

杭長の選定理由

　　　　　　　　　　　 長期設計支持力算定式

長期設計支持力 KN／本 ※計算過程を添付する

先端平均Ｎ値 Ｎ

摩擦力考慮　・する(範囲～　　　　　　　　　　　　)　・しない

　　　　　　 　　　　　杭頭固定度　・固定　・半固定

杭頭部の補強方法 ・Ａ形 ・Ｂ形 ・その他

杭頭補強筋の検討 ・する　　　　　　　　　　 ・しない

杭の水平耐力の検討　・する　・しない

杭の負の摩擦力の検討 ・する　・しない

杭の引抜きの検討　・する　・しない

杭の精度 水平方向への位置ずれの検討　・杭径の1/4かつ100mm以下

　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　 　　・

その他検討する事項

４．荷重及び外力

(1) 積雪荷重 最深積雪量 　 ｍ 　 単位重量　30 N／㎡・cm

(2) 地震力 地域係数 Ｚ=0.8

　　　　　　　　　　　　地下　　　　　・該当なし　・水平震度を考慮した検討

　　　　　　　　　　　　屋上突出物　　・該当なし　・局部地震力による検討

(3) 風圧力 速度圧 ｑ=0.6EV02 　 地域による低減 無

地表面粗度区分 　 　　 基準風速 Ｖ0=30 ｍ／sec

(4) 土圧・水圧 ・考慮しない　 ・土圧係数 ・上載荷重 　 　KN／㎡

(5) 杭の水平力 ・考慮する 　 ・考慮しない

　(6) その他の荷重 特殊荷重　・有　　・無

(7) 積載荷重　 （KN／㎡）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 室　名 | 床用 | ﾗｰﾒﾝ用 | 地震用 | 室 名 | 床用 | ﾗｰﾒﾝ用 | 地震用 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

(8) 仕上げ重量 （KN／㎡）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 仕　　上 | 重　量 | 仕　　上 | 重　量 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

(9) 機械重量　 （ KN ）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 機械名 | 機械  重量 | 基礎  重量 | 割増し係数 | 機械名 | 機械  重量 | 基礎  重量 | 割増し係数 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

５．設計方針

(1) 計算ルート

　Ｘ方向 ルート

　Ｙ方向 ルート

(2) 解析方法

プログラム　・使用する　　・使用しない

　　　　　　 　使用プログラム名

国土交通大臣の認定の有無　・有（認定番号 　　　　　　　　　 ） ・無

鉛直荷重時 ・固定法　　　・変位法

水平荷重時 ・Ｄ値法

・変位法（・平面フレーム　・疑似立体　　・立体）

床の剛性 ・剛床仮定　　・一部剛床仮定解除　・

剛　　域　　・考慮する　　・考慮しない

　　　　　フェースモーメント

・採用する　　・採用しない

建物全体の偏心による応力補正

・しない　・する

保有水平耐力

・荷重増分解析法　　・

　　(3) 重要度係数

重要度係数を考慮する具体的な計算式

　　(4) 層間変形角

大地震動時の層間変形角の最大値

　　(5) 梁貫通孔の補強設計

　　　　　　　　　　　 ・既製梁貫通補強材　　　　　　 (性能評価番号 )

　　　　　　　　　　　　 ・公共建築工事標準仕様書 各部配筋参考図(・Ｈ型 ・ 　　　)

６．仮定断面

※別図を添付する（伏図共）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（改定日　令和３年４月１日）